



平和に祈りをこめて

平和観音像開眼・竣工式

市浦村遺族会（青山又一会長）では、かねてより平和観音像を建設していましたが、このほど完成し、八月二十日遺族、関係者ら百五十人が出席して、開眼、竣工式を行いました。

平和観音像は、国運を培った諸英霊の遺徳をしのび、人類永遠の平和に祈りをこめて建立したもので、台座には本村英霊百二十三人の氏名が刻みこまれています。

竣工式では、青山又一会長が「争いのない環境、戦争のない自由な国を築くため、愛国心に燃えて散った本村英霊の方々のご遺志を永久に存続しなければならぬ」と述べたあと、米實、遺族らが次々焼香し、戦没者の安らかな冥福を祈りました。

村民の心のふるさととして、安らぎと幸福感を与えてくれる観音像は、郷土の平和と繁栄を仰ぎ見て、山村広場の一角にそびえ立っています。



総工事費450万円をかけたの平和観音像は、遺族らの手によって建立されました。

今月の主な記事

- 津軽テクニカ工場拡張..... 2
- 十三の砂山まつり..... 3
- 消防団観閲式..... 3
- 村民体育大会..... 4
- B & G スポーツ東北大会..... 5
- 歴史散歩..... 6
- おしらせ..... 7
- 健康への道..... 8
- 戸籍の窓..... 8

約百名の遺族らがしめやかに戦没者の冥福を祈りました。



産業振興 センター 津軽テクニカ

組立てから完成まで一貫体制

操業から6ヵ月

工場拡張で200人雇用



今年2月操業開始した津軽テクニカは、工場を拡張して200人体制へ。部品組立作業をする従業員は7月末現在97人。

村の誘致企業である産業振興センター津軽テクニカ(佐野実代表)では、音響事業への協議も終え、工場の増築に拡大と生産量の増大を図るた

着工しました。

増築工場も 公設民営で

昨年十二月八日「村が用地造成と工場を建設し、津軽東芝音響株式会社社が内部設備をして、経営、指導、育成に当たる」という、工場立地に関する基本協定書を締結。「公設民営」という新しい方式を取り入れて産業振興センター「津軽テクニカ」を誘致しました。

二百人雇用の場を創出しよう。」、施策の重点目標の一つに掲げている村側の考えでは、工場の拡張は早くても一年から二年後になるものと見込んでいたのですが、製品需要が伸びていること、七月末日現在で、九十七人の

計画を早めて 増築に踏み切る

「二百人雇用の場を創出しよう。」、施策の重点目標の一つに掲げている村側の考えでは、工場の拡張は早くても一年から二年後になるものと見込んでいたのですが、製品需要が伸びていること、七月末日現在で、九十七人の

従業員が雇用され、今後の生産目標計画に基づく従業員の採用が施設のにも困難になったため、操業開始以来六ヵ月で工場の拡張工事に踏み切ったものです。

六十年途中で 二百人体制へ

五百十平方メートルまでの工場に、六百四十八平方メートル、合わせて一千五百八十八平方メートルにする予定ですが、今回の増築工事は、電気、防災設備、給排水設備等を含めて四千五百十平方メートル十五日までには完成させることにしています。

現在、ヘッドホーンステレオ、ラジカセ等の部品組立て中心の作業をしています。増築工場が完成すると製品の完成まで一貫した作業工程が整備され、村がめざす二百人雇用体制が大幅に早まるものと期待を寄せています。産業振興センター津軽テクニカでは、工場増築に伴い女子従業員を募集していますが、「昭和六十一年三月までには二百人体制にしたい」と意気込んでいます。

津軽テクニカに 就職して

津軽テクニカが誕生して六ヵ月が過ぎ、従業員も八月現在で百三十人にまでなりました。何人も初めたことで不安もありましたが、自分たちがやらなければという気持ちで頑張ってきました。

最近、高校を卒業するとすぐ都会へ出て行く人が増えていく状況がありますが、働く場所が出来たことは大変よかったと思います。また、都会に出て行った人



津軽テクニカ 事務本 幸さき 美本 幸子

が村に帰っても仕事がないといった不安もあったと思いますが、これからは大丈夫です。よりよい製品を作るため、従業員一人一人が確実に作業をし、津軽テクニカ発展のためにも頑張らなければならないと思っています。



「十三の砂山」の流し踊りやミコシがとびだしワッショイ、ワッショイ、沿道の観光客からも掛け声が飛んでいました。

お盆は亡き肉親との再会。のとき一年で最も楽しく、にぎわいをみせるときでもあ

ら。四日開行われ、子供ねぶたの運行、カッター、カヌー大会、野球大会などが連日開催されました。

最終日の十六日には、血気盛んな若者たちがかつぎミコシと、保存会員らがつる流し踊りが村のメインストリートを練り歩き、各家の軒先に陣取った人々からヤンヤの拍手と、花が次々寄せられていました。

満喫 夏のさとのふるさ

むしむを夏の行く

祭り一色

ります。毎年、この時期は出稼ぎ先や故郷を遠く離れた人たちが帰省し、村の人口は一気に膨れ上がり、各地区とも活気にあふれます。

村内各地区では今年も、盆踊り大会や野球大会などを開催し、老い若きも一緒にふるさとの夏を満喫しています。

みちのくの哀愁をキャッチフレーズにした「十三の砂山まつり」も、八月十三日から

十三の砂山 米ならよから西の弁財堂にただ積ましょ、日本海の落日があたまり一面を染めるろろ、独特の哀調を帯びたメロデーが流れ、帰省した若者たちや十三湖の旅情に魅せられ来た連れの客が踊りの輪をいく重にも広げ、行く夏を惜しんでいます。

十三の砂山

ら四日開行われ、子供ねぶたの運行、カッター、カヌー大会、野球大会などが連日開催されました。

最終日の十六日には、血気盛んな若者たちがかつぎミコシと、保存会員らがつる流し踊りが村のメインストリートを練り歩き、各家の軒先に陣取った人々からヤンヤの拍手と、花が次々寄せられていました。

消防団親閲式

玉落し競技や分列行進



号令勇ましく堂々の分列行進

市浦村消防団(三和清平団長)の親閲式が八月十四日、消防団員ら百五人のほか、ポンプ車八台が参加して行われました。

親閲式並びに防災訓練は、団員の規律と服装、訓練を親閲し、消防体制の確立と災害対策に万全を期そう」と毎年実施しています。

この日も、「市浦中学校に隣接する倉庫(仮設)から出火」を想定し、早朝から防災、消火訓練が行われ、防災無線による団員の出動要請や消火活動など、日ごろの訓練ぶりを見ることができました。

また、相内川で行われた各分団による「玉落し競技」のあと、コミュニケーションセンターでは分列行進を行いました。

訓練後、コミュニケーションセンターに会場を移して、優良団員に対する表彰、退団者へ感謝状を授与し、観閲者の講評、訓辞、祝辞などがありました。

優良団員被表彰者
◆三和兼人(第一分団々員)、秋田谷浩(第二分団々員)、成田英雄(第三分団々員) 梶浦昭一(第三分団々員) 浜田隆樹(第三分団々員) 新岡正治(第三分団々員)

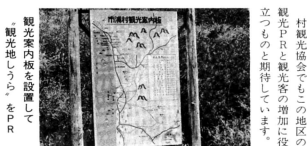
◆感謝状受賞者
秋田谷納、三浦直義、渡辺敏昭、秋田谷英紀
◆一般協力者、消火活動並びに消防水利の除雪に協力) 福田石村青森工場、秋田谷二三、柏谷忠助、相川其吉

観光案内板を
設置

村観光協会

夏の行楽期を前に、県内外から訪れる観光客に、磯松・脇元地区の観光の見所を知ってもらおう」と市浦村観光協会(工藤章二郎会長)では、七月二十八日に磯松バイパス附近へ観光案内板を設置しました。

同地区は、海水浴シーズンには大変にぎわいをみせ、訪れた人達から好評を得ています。



観光案内板を設置して、観光地しらら。をPR

第11回村民体育大会

村民の親善融和と健康増進を目的に掲げた第11回村民体育大会暨期大会は、七月十五日十三小学校グラウンドに村民約九百人が参加して行われた。

好勝負に大きな声援

十三第一総合優勝

夏期大会・太田チーム

この日は、小雨が時々降り曇り空でしたが、村内十地区の代表選手が堂々の入場行進をしたあと、大沢丈徳君が、村民相互の親善を深めるため

り綱引き、年齢を問わず男女各十人、合わせて二十人が掛け声一つに力自慢を競い合い、太田チームが今年も優勝に輝きました。

また、市浦宮林署長杯をかけたイス跳び競走では、相内第四チームが十連覇をめぐして出場したが惜しくも第六位に終わりました。

各チームの応援団席からは「ソレ、ケッパレグ」の声援の光景が見られるなど、スポーツを通じて和やかに心の触れ合いの輪を広げ、有意義な一日を過ごしました。

大会のハイライトは、やはり競技では、年齢別の百計競走から始まり、五十歳以上の村民が出場できる輪投げ競技、母と子の数字合わせ、さらには地元の名物シジミ貝を使ったシジミ貝拾い競走や親子三代リレーなど、楽しいプログラムが盛りだくさんでした。

◆競技成績は次のとおりです。

▼冬期・夏期大会総合優勝十三第一チーム、同準優勝相内第一チーム、同三位太田チーム。

▼夏期大会優勝太田チーム(188点)。準優勝十三第二チーム(176点)。三位十三第一チーム(160点)。四位相内第一(145点)。五位相内第二(142点)。六位相内第三(132点)。七位相内第四(124点)。八位相元第一(123点)。九位相内第二(93点)。十位磯松(65点)。

▼市浦宮林署長杯(イス跳び競走)優勝太田チーム。

▼市浦宮林署長杯(イス跳び競走)優勝太田チーム。



村内10班の各代表選手らは小雨降る十三小グラウンドに集し、堂々と入場行進をしました。



チームの勝敗をかけて力走、スタートだけは一斉に



夫婦仲よく呼吸。もピッタリ



ボール送りは「ワシラ」。が主役じゃノ



イス跳び競走…相内第4、10連覇ならずノ太田チームはここでもチームワークを発揮し、宮林署長杯を手にしました。

B & G スポーツ東北大会

市浦・上位独占全国大会へ 六百人が親睦深める

財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団(略称B&G財団・笹川良一(会長) B&G財団東北地区海洋センター主催の第五回B&G全国スポーツ大会東北ブロック大会が、七月三十一日から八月一日までの二日間、村内五合場で行われました。

この大会は、B&G財団海洋センターおよび海洋クラブで日ごろ鍛錬している青少年を対象に、海事思想の普及、

スポーツ、レクリエーションの振興を図るとともに、体力の向上と各センター相互の連

帯と親善を図ろうと開催しているものです。大会初日の三十一日は、午後四時から山村広場で開会式を行い、東北六県から二十九

の海洋センタークラブ員約六百人が参加し、堂々の入場行進をしました。

開会式では、柏谷秀一市浦村教育長が「海洋性スポーツをおとせ、海への関心をより一層深めるとともに、強い

体と豊かな心を身につけるよう努力し、東北六県から参加した選手相互の連帯と親善を深めてほしい」と激励したあと、三重賞村長、青山又一村議長議長らが歓迎のあいさつと祝辞を述べました。

この日は、工藤弘子さん(市浦海洋センター)が、力強く選手宣誓をし、開会式を閉じました。

翌日の一日は、十三湖前浜でカヌー、カッター、ダブル

スカル、十三漁港附近でOPヨット、市浦海洋センター上屋プールで水泳、同体育館では剣道の四種目に熱戦を繰り広げました。

開会式では、柏谷秀一市浦村教育長が「海洋性スポーツをおとせ、海への関心をより一層深めるとともに、強い体と豊かな心を身につけるよう努力し、東北六県から参加した選手相互の連帯と親善を深めてほしい」と激励したあと、三重賞村長、青山又一村議長議長らが歓迎のあいさつと祝辞を述べました。

この日は、工藤弘子さん(市浦海洋センター)が、力強く選手宣誓をし、開会式を閉じました。

翌日の一日は、十三湖前浜でカヌー、カッター、ダブルスカル、十三漁港附近でOPヨット、市浦海洋センター上屋プールで水泳、同体育館では剣道の四種目に熱戦を繰り広げました。

この日は、工藤弘子さん(市浦海洋センター)が、力強く選手宣誓をし、開会式を閉じました。

翌日の一日は、十三湖前浜でカヌー、カッター、ダブルスカル、十三漁港附近でOPヨット、市浦海洋センター上屋プールで水泳、同体育館では剣道の四種目に熱戦を繰り広げました。

この日は、工藤弘子さん(市浦海洋センター)が、力強く選手宣誓をし、開会式を閉じました。



各選手の歓迎と大会を盛り上げるため、十三小鼓笛隊が村内をパレードしました。



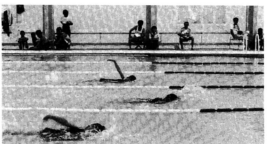
開会式で整列する選手団



OPヨット競技



カッター競技



水泳競技

ダブルスカル、水泳、剣道では、残念ながら本村からの入賞者はありませんでした。

この日は、工藤弘子さん(市浦海洋センター)が、力強く選手宣誓をし、開会式を閉じました。

翌日の一日は、十三湖前浜でカヌー、カッター、ダブルスカル、十三漁港附近でOPヨット、市浦海洋センター上屋プールで水泳、同体育館では剣道の四種目に熱戦を繰り広げました。

この日は、工藤弘子さん(市浦海洋センター)が、力強く選手宣誓をし、開会式を閉じました。

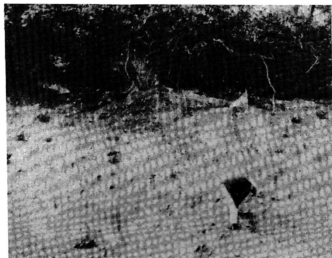
この日は、工藤弘子さん(市浦海洋センター)が、力強く選手宣誓をし、開会式を閉じました。

翌日の一日は、十三湖前浜でカヌー、カッター、ダブルスカル、十三漁港附近でOPヨット、市浦海洋センター上屋プールで水泳、同体育館では剣道の四種目に熱戦を繰り広げました。

この日は、工藤弘子さん(市浦海洋センター)が、力強く選手宣誓をし、開会式を閉じました。



▶ 66 ◀



オセドウ縄文人出土場所 (当時の写真)

縄文時代
お祭りの
あそび (3)

奥の山塚

オセドウ縄文人の葬法
前号の写真オセドウ縄文人は、相内のお医者共舎五孝氏によって復元されたものです。当時発掘に参加し

ていた相内小学校教師の穴倉氏(宜孝氏の縁者でしよう)の談話によって、オセドウ縄文人の葬法を再現してみました。

貝塚の上端 すなわち現在の路面から約四・五メートルの位置に、頭部は西北に向かい、足部は東南に向かって、天空を見つめるように脚を伸ばし、両腕は正しく垂れ、掌を閉じて葬むられていました。頭部および身体の何れの周囲にも特別な器物がなかったということです。つまり、伸展葬であったわけです。副葬品については、現柏谷教育長さんのお話では小さい土器で囲まれていたかどうかという点ですが、その土器の記録は見当たりません。同氏が十三才位の追想談で

オセドウ人は壮年男子

オセドウから出土した土器に、はじめて、田圃土器と名づけた人類学者長谷部言人博士によると、オセドウ貝塚人骨は壮年男子であるといわれています(一、二年令三〇―四〇才ぐらい)。ほんとうにたくましい体格の人であった。

頭蓋の最長一七八、最幅一四八ミリメートル、示数は八三・一強で、縄文人としては稀に見る程度の、著しい短頭型です。このような頭蓋から推測すると、脳量も相当なもので知能も優秀であったろうし、美男子でもあったものでしょう。詳しいことは村史でお考えください。

オセドウ人は

頭の病気が

このオセドウ貝塚人の死因については博士は、「矢状縫合の後部左側は少しくツウソソ(緻密でない)で、かつ隆起し、ことに前方はど著しく、粒塊状に近く、不規則に凸凹せる面を呈し

ている。この部分の皮膚疾患か、あるいは損傷に伴う骨髄炎による変化であろう。」といっている。頭部の病気になるか、戦いなどで打傷を受け、骨髄炎を起こしたものであろう。

オセドウ人骨は

安日彦か

外三郎誌に、安日彦、長髓彦の再葬合祀地として、オセドウが挙げられています。しかし、副葬品がなかったことや、あったとしても土器程度のものであったろうから、外三郎誌の記録とは甚しいちがいがあり、長髓彦は肩に矢傷を受けたことになっているので、私たちがガツカリさせます。

ただ、安日彦に一応のぞみが残されます。一度他に移わられて、ふたたびオセドウに葬むられたものなので、今後の学者方の発表に望みをかけておきたいと思えます。

オセドウは、わが市浦村の水遣の霊地であることには変わりありません。

津軽のことわざ ⑧

はの部

藩サ崎輪 相手が強くてとてもかなわないこと。

搏き溜めに 環境にふさわしくないほどひりたり勝ちしていること。つまなぬところへきわ立つてすぐれた者があらわれたこと。

博打氣と 痛気のない人はな

い。どんな人にも胆障なしと病

化の皮あらわす 包み隠してあつた素性や物事の真相が

化物に面とほうもないことに出会うこと。

おさなげ下りし 一挙一動に上をいふこと。

細かい事にも一々口やかましく小言をいうこと。

恥の上塗り 恥の恥、不名誉なうえにまた不名誉なことを重ねること。

始めが大事 何事も始めの一事が万事を決する。


箸より重い物を持たない 金持ちの家に生れて大事に育てられ、労働の経験がないこと。

歯立たネ 力の及ばぬこと

情報をお寄せください

おしらせ

役場の電話は62-2111



サライキ、サイギョ、おばあちゃんといっしょに、男にのぼるんだよ。



成田 薫さん(脇元)
長女志穂ちゃん(4歳)

津軽テクニカ

女子従業員を急募

市浦村産業振興センター津軽テクニカでは、事業増大により、女子従業員を募集しています。健康で働く意欲が旺盛な方の応募を望んでいます。

職種 ヘッドホーン・ステレオ、ラジカセ等の音響製品の組立・調整

採用予定人員

- 組立・調整 35歳以下 約20名
- 包装・運搬 45歳以下 約5名

勤務地 市浦村大字相内字岩井81
待遇 ●日給2,960円

(16歳～17歳2,800円)

試用期間 (3ヶ月間)

- 賞与、精・皆勤手当、通勤補助手当、時間外手当、扶養手当有
- 社会保険の制度有(厚生・健保、労災、雇用保険)
- 日曜・祝祭日・正月・お盆休み有

●勤務時間 8時15分～17時

応募手続 願書・履歴書(役場備付)を津軽テクニカへ提出してください。

受付期間 8月24日～9月5日
面接 受付期間中、午前9時より津軽テクニカで行います。

採用方法 面接と書類選考(履歴書・願書)

お問い合わせ
津軽テクニカ

電話 62-3320
市浦村役場企画財政課
電話 62-2111

財産区委員決まる

7月25日、任期満了に伴う三地区の財産区管理委員が、次のとおり選任されました。

- ▶相内財産区 秋田谷清司、成田義尚、奈良直美、山田進、三浦兼四郎、工藤聖一、田中義春
- ▶脇元財産区 三上正衛、櫛引傳治郎、佐藤佐吉、黒川進、村元清藏、中山安一郎、藤田金太郎
- ▶十三財産区 大沢丈巳、八木沢良藏、梶浦清、豊島正明、秋月忠孝、長尾平内、三上浅吉

税のなんでも相談

お気軽にどうぞ

所得税法の一部が改正され、事業所得等のある人は、記帳が義務化されます。(昭和60年1月1日より)

記帳及び税に関することならどんなことでも相談できます。

商工業者、村民のみみなさんお気軽にご相談ください。

とき 9月13日 10時～14時
ところ 市浦村商工会
(相談者は9月11日まで村商工会へお申込みください。)

相談は無料で、税理士が担当いたします。

一経営安定特別相談

企業の倒産を未然に防ぐため、経営安定について、商工調停士、税理士が経営安定について、特別相談に応じております。詳しくは、市浦村商工会へお問合せください。

警察官・交通巡視員を募集します

青森県警察本部では、高等学校卒業程度の人を対象として警察官及び交通巡視員を募集しています。

採用予定人員

- 警察官 約20人
- 交通巡視員 若干名

申込受付期間

9月3日～9月22日

受験資格

- 警察官 昭和32年4月2日から昭和42年4月1日までに生まれた男子。ただし、4年制大学を卒業した者及び卒業見込みの者を除く。

交通巡視員

昭和36年4月2日から昭和42年4月1日までに生まれた女子

試験日

- 第1次試験 10月21日 青森高等看護学院、弘前高等学校、八戸西高等学校
 - 第2次試験 11月27日 青森県警察学校
- その他、くわしいことは、金木署が駐在所へおたずねください。

広報POPPI

空き缶の
ポイ捨ては
やめましょう

道端、広場や観光地に行くとき、必ずと言っていいほど空き缶が投げ捨てられています。缶入り飲料は、手軽に持ち運べて、とても便利ですが、飲み終わった後は邪魔物扱いで、



脇元・櫛引 松三

なにげなく投げ捨てられているの、この投げ捨てられた空き缶によって、私たちの美しい自然、生活環境が汚れることはもちろんのこと、資源の無駄使いになっていると、責の無駄

空き缶の散乱は、結局は個人のモラルの問題です。将来とも受け継がれる豊かな自然を私たち一人ひとりが守っていくという気が持たないで、乱防止につながっていくのではないのでしょうか。



ガン予防

— 検診の結果から —

のは筋種のようにです。もう通知書を受け取っていることと思いますが、病院で検査をすすめられた人は、確実に受診することをお勧めします。

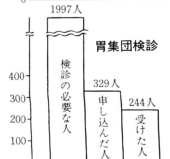
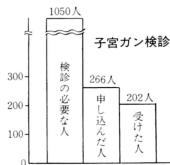
最近、役場の検診のやり方は古く、現在はお腹に器械をあてるだけでガンがすぐわかるという間違った話があちこちで話題になっています。しかし、実際に細胞を取り調べるのが一番確実な方法であることをお知らせしておきます。

つきに、胃の集団検診については二百四十四人が受診しました。その中で四十三人に精密検査を受けるようにと指示がありました。内訳は、胃潰瘍疑い 23人、胃炎疑い 8人、ポリープ疑い 6人、十二指腸潰瘍疑い 4人

胆石疑い 2人です。地区の声としては、カラを飲むのが大変だとか、体の調子がなんともない等の理由でそのまも放置しようとしていた人もいるようですが、せっかく検診を受けたのですから、自分の健康のため途中で棄権することなく最後まで完走して欲しいと思います。(村派遣保健婦 野宮)

七月に行われた子宮ガン検診と、胃集団検診の結果をお知らせします。子宮ガン検診は二百二人の人が受診しました。これは、検診の必要な人の十九日に過ぎません。残り八十一日に、どこで健康の確認をしているのでしょうか。受診した人の二十七人に異常が発見され、最も多かった

開催されましたが、カヌー競技小学生の部で、小山内珍治君(十三小六年)が見事なレィス運びで、個人優勝をしました。



全国大会で個人優勝

小山内 珍治

(十三小六年)

ブルーシー・アンド・グリインランド財団(略称B&G財団・笹山良一会長)主催「後援・運輸省」の第五回B&G全国スポーツ大会は、八月十五・十六の両日、東京・多摩川モーターボート競走場で

この大会は、北海道から沖縄までの全国十一ブロックから選び抜かれた代表選手約五百六十人が出場して、各種目別に実施しました。小山内君も、去る七月三十一日から二日間、本村で開催

した東北ブロック大会で優勝して、全国大会出場となったのですが、全国大会でも1分19秒71という好記録をマークしての優勝でした。

この記録は、今大会始めて以来の記録となり、大会関係者をびっくりさせました。また、豊島夏子さん(十三小六年)もカヌーの部個人で準優勝をするなど、団体総合でも、準優勝に輝きました。



カヌーの部でチャンピオンになった小山内君

戸籍の窓



お誕生

- 奈良 一樹(十三) 広樹
- 小寺 慶哉(脇元) 政信
- 工藤 恵二(相内) 優
- 中山 未希(相内) 真
- 石岡 慧也(脇元) 正一
- 丸山 飛香(太田) 芳幸
- 沼田 珠希(脇元) 隆一
- 三浦 萌美(相内) 恭武
- 奈良 和久(太田) 新一



ご結婚

- 成田 治さん(脇元)
- 長女 仁美ちゃん(1歳4ヵ月)



おこやみ

- 三上 三男(相内) 41歳
- 小寺 翠(脇元) 67歳
- 萬西 兼雄(脇元) 59歳
- 高橋 フミ(脇元) 80歳
- 佐藤 しま(相内) 82歳
- 中島 まさ(十三) 86歳

- (天野 治仁(静岡)
- (石岡由喜子(脇元)
- 佐藤 篤志(相内)
- 岡田 礼子(相知)
- 三浦美智男(相内)
- 秋田谷つや子(相内)
- 狩野 健司(札親)
- 後藤 悦子(磯原)
- 小野 義秀(五所川原)
- 奈良 佳子(相内)
- 須藤 誠一(青森)
- 高田貴美子(十三)
- 柏谷千代春(相内)
- 前田 栄子(弘前)